

事業所理念：子供としての存在を尊重する。子供時代に体験することは何一つ無駄なことではない。

基本方針 ①安全で安心できる環境を提供する。②自己選択・自己決定を大事にする。③子供のありのままを受け止める。④外へ出て社会とつながる。⑤家族に寄り添う。

【営業時間】

平日 12時30分～18時30分
学校休業日 9時30分～17時30分
送迎 有

【一日の過ごし方】

平日(下校～17:00)

来所→検温・支度
→宿題・フリータイム
→掃除
→帰りの支度

学校休日日(10:00～16:00)

来所→ 検温・支度
→フリータイム
→昼食
→フリータイム
(外出・集団活動)
→おやつ、
→掃除
→帰りの支度

【職員の質の向上】

- ・虐待防止、身体拘束に関する研修を行う、
- ・防災に関する研修を行い、
防災訓練を実施する。
- ・支援会議やケース検討会の実施。
- ・支援の仕方を学ぶ研修会への参加。

【本人支援】

健康・生活

日々の健康状態の把握や基本的な生活リズムやスキルの獲得に向けて支援します。

例)・検温、手洗い、着替え、身だしなみ、そうじ、排泄

お弁当やおやつ

・視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」等
イラストや記号を用い具体的に表示。

運動・感覚

姿勢保持や筋力の維持・強化・様々な
感覚が活用できるように遊びや活動を通し支
援します。

例) ボール投げ・公園での遊具遊び、追いか
けっこ、サッカー、キャッチボール、散歩、
ラジオ体操・ダンス、

・体を動かす ・遊具を使う ・遊具を使いこなす
・他者と一緒に待つ ・対峙する。

認知・行動

大きさ・色といった物の属性や
数や時間・空間概念の形成を図り、
促せるよう支援します。

例) 創作活動(粘土・アイロンビーズ・
スライム作り・工作・描画・折り紙・積
み木・ブロック等) ゲーム類(UNO、ト
ランプ、将棋、オセロ、ドミノ、双六、
ジェンガ)、パソコン、読書

素材・材料を見る、触る、五感で感じる、カードや駒
を扱う(手指の巧緻性) 数、色、多少、大小、
高低を知る ・形作る、道具を使う、
言葉で表現する 材料や道具の貸し借り、
一緒に作る、仲間と行う
対戦する

5
領域
と
活
動

言語・コミュニケーション

言語習得やコミュニケーション能力向上に向けて支援します

例) 挨拶や言葉を介してのやり取り

絵カードやサインを使つてのコミュニケーション

人間関係・社会性

愛着の形成やと安定を促し、情緒の安定を図りつ
つ、他者との関わり方を覚えることを支援します
例) ゲーム等で仲間作りと集団への参加を図る。
ごっこ遊び

【家族支援】

- ・家族の就労や用事による預かり
ニーズには時間を延長して支援
する
- 兄弟への対応
- ・家庭での関りに対する相談支援

【移行支援】

- ・進路等の相談に乗る。
- ・公共交通を使った通学手段や施設の
使用方法等の練習等を行う。
- ・学校との情報共有や協力、
連携を行う。

【地域支援・地域連携】

- ・相談支援事業所との連携
- ・近隣の放デイとの連携、
- ・将来を見据えて成人の事業所
とのつながりを作る。

【主な行事等】

外部講師によるスポーツ活動、
外部講師による音楽活動、
長期休みでの合同活動
(クリスマス会、
卒業を祝う会、
他施設合同のお祭り)
季節に合わせたイベント
(初詣、お花見散歩、
夏休みプール、
おやつ作り、ビンゴ大会、
節分の豆まき等)